

# ウチイケ 室蘭 エコ住宅全国最高賞

3年ぶり2度目

省エネルギー性能に優れた住宅に贈られる「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2021」の大賞を室蘭市の住宅建設会社「住まいのウチイケ」が受賞した。最高賞の受賞は3年ぶり2度目。（久保耕平）

## 高機能断熱材で省エネ性能向上



「コロナ禍で住宅に対する考え方も変わってきました」と話し、時代に合った住宅を提供したいと話す内池秀光社長

省エネ住宅の普及を目的とする一般社団法人「日本地域開発センター」（東京）の主催で265件の応募があり、大賞は3件のみ。その一つがウチイケが提供する上位仕様の「エコハウスゼロ」だった。2018

年度は標準仕様の「エコハウス・スタンダード」が選ばれており、同社が販売する全ての仕様に品質のお墨付きが与えられたことになる。内池秀光社長は「全ての商品がエコ住宅だと、これまで以上に胸を張つて言

える」と喜んでいる。「ゼロ」は壁、屋根などの中側に高機能断熱材を用い、ガラス窓を3層構造にするスタンダードと同じ独自工法をベースとして、断熱材をスタンダードの2倍にするなど高機能化した。

「ゼロ」と喜んでいます。

建てる。

会社は01年に設立し、スタンダード7棟の受注からスタートした。大工を正社員で雇用して責任感を持たせ高品质を確保。口コミで評判が広がり、21年度の受注は計40棟に増えた。建築主の7割は紹介だという。

新型コロナウイルス禍でリモートワークが浸透した影響で、仕事部屋となる書斎を設けたり、帰宅してすぐ手洗いできるよう洗面台を玄関に配置したりするなど、客の要望は多様化している。燃料価格の高騰や脱炭素社会の実現へ向けた意識の高まりで、住宅のエネルギー効率を重視する声も多くなっています。内池社長は「日本一のエコ住宅を広めたい」と意欲を示しています。